

平成27年度

事業報告書

平成27年4月1日～平成28年3月31日

社会福祉法人 日田市社会福祉協議会

目 次

I. 総 括	……………P1
II. 会務の運営 (法人運営部門)	……………P2～P3
III. 地域における福祉推進のための事業 (地域福祉活動推進部門)	……………P4～P8
IV. 福祉サービス利用援助事業 (福祉サービス利用支援部門)	……………P8
V. 介護保険関連事業 (在宅福祉サービス部門)	……………P8～P10
VI. 施設管理運営事業 (指定管理部門)	……………P10
VII. その他の部門	……………P10～P11

平成27年度事業報告

I. 総括

① 法人の事業経営全般

27年5月に、任期満了に伴う理事の選任を行い、新体制の下で会長・副会長を選任しました。11月には理事が先進的事例を学ぶために、山鹿市社会福祉協議会（熊本県）を視察。会計面では新たな法人会計基準に移行し、事業財源や資金の使途を明確化しました。また、ここ数年、職員の継続的な定年退職が見込まれることから、10月(11月に2次)に正規職員の採用試験(28年度採用分)を実施。

② 地域福祉事業部門

4月から、日田市役所内に「ひた生活支援相談センター」を設置し、生活困窮者自立支援事業を本格的にスタート。これにより、従来の貸付資金による金銭的な支援のみから、就労や病気、障害、引きこもり、家族関係など相談者が抱えている課題について、包括的に支援できる体制が整いました。

その他、ボランティアセンターの機能を活性化し、災害時や日常的な支援活動を促進させるために、「ボランティアセンター運営委員会」を3月に発足。

③ 介護サービス事業部門

通所介護では、大山支所が新たに土曜日を開所したことで利用者数が増加しましたが、それ以外の支所では利用者が減少し、全体で前年比約1,000人の減少となっています。訪問介護、居宅支援についても減少しています。収入面では、報酬単価減額の影響も加わって、福祉用具貸与事業も含めた介護保険サービスの収入は前年比約3,480万円の減収となり、当期の収益は約485万円のプラスに止まりました。

④ 指定管理事業部門

保育園運営では、子ども・子育て支援新制度施行に伴い4保育園の内、2園を保育所型認定こども園、残り2園を小規模型保育園に移行しました。収入面では公定価格(運営費)における職員配置基準の見直しで、前年比約1,365万円の増収となり、当期の収益は約960万円のプラスとなりました。また、保育園、高齢者生活福祉センター、津江老人福祉センターの各施設について、新たに5年間(28年度以降)の指定管理を日田市から受けています。

⑤ 法人経営

当初、一般会計予算では1,890万円のマイナス差額が見込まれていましたが、保育園の増収及び介護事業に係る非常勤職員の人件費の減額等により、最終的に705万円のプラス収支決算となっています。

Ⅱ. 会務の運営（法人運営部門）

1. 役員会等の開催（予算拠点区分：地域福祉活動推進事業/サービス細区分：組織運営事業）

会務の適切な運営に向けて経営方針の決定、事業の執行を図るために役員会等を開催しました。

【理事会】 5 回

月 日	内 容
第1回 平成27年 5月12日 9名 書面4名	<ul style="list-style-type: none"> ・第1号議案 日田市社会福祉協議会 会長・副会長の選任並びに職務代理者の順位について ・第2号議案 評議員の委嘱について
第2回 平成27年 5月26日 9名 書面2名	<ul style="list-style-type: none"> ・第1号議案 平成26年度日田市社協事業実績報告について ・第2号議案 平成26年度日田市社協一般会計収支決算について ・第3号議案 平成26年度日田市社協その他の特別会計収支決算について ・第4号議案 評議員の委嘱について ・その他
第3回 平成27年 9月17日 9名 書面2名	<ul style="list-style-type: none"> ・第1号議案 日田市立いずみ・ひばりこども園及びつづき・まえつえ保育園の指定管理者の指定申請について ・第2号議案 日田市津江老人福祉センターの指定管理者の指定申請について ・第3号議案 日田市前津江・中津江高齢者生活福祉センターの指定管理者の指定申請について ・第4号議案 評議員の委嘱について ・第5号議案 副会長辞任に伴う後任の副会長選任並びに職務代理者の順位について ・その他
第4回 平成27年 12月18日 9名 書面3名	<ul style="list-style-type: none"> ・第1号議案 日田市上津江高齢者生活福祉センターの指定管理者の指定申請について ・第2号議案 平成27年度日田市社会福祉協議会会計第1回補正予算(案) ・その他
第5回 平成28年 3月25日 12名	<ul style="list-style-type: none"> ・第1号議案 平成27年度日田市社会福祉協議会会計第2回補正予算(案) ・第2号議案 平成28年度日田市社会福祉協議会事業計画(案) ・第3号議案 平成28年度日田市社会福祉協議会会計予算(案) ・その他

【評議員会】5回

月 日	内 容
第1回 平成27年 4月28日 22名	<ul style="list-style-type: none"> ・第1号議案 理事・監事の選任について ・その他
第2回 平成27年 5月27日 14名	<ul style="list-style-type: none"> ・第1号議案 平成26年度日田市社協事業実績報告について ・第2号議案 平成26年度日田市社協一般会計収支決算について ・第3号議案 平成26年度日田市社協その他の特別会計収支決算について ・第4号議案 理事の選任について ・その他
第3回 平成27年 9月17日 18名	<ul style="list-style-type: none"> ・第1号議案 日田市立いずみ・ひばりこども園及びびつづき・まえつえ保育園の指定管理者の指定申請について ・第2号議案 日田市津江老人福祉センターの指定管理者の指定申請について ・第3号議案 日田市前津江・中津江高齢者生活福祉センターの指定管理者の指定申請について ・第4号議案 理事の選任について ・その他
第4回 平成28年 12月18日 20名	<ul style="list-style-type: none"> ・第1号議案 日田市上津江高齢者生活福祉センターの指定管理者の指定申請について ・第2号議案 平成27年度日田市社会福祉協議会会計第1回補正予算(案) ・その他
第5回 平成28年 3月25日 20名	<ul style="list-style-type: none"> ・第1号議案 平成27年度日田市社会福祉協議会会計第2回補正予算(案) ・第2号議案 平成28年度日田市社会福祉協議会事業計画(案) ・第3号議案 平成28年度日田市社会福祉協議会会計予算(案) ・その他

2. その他の会議等の開催

- ① 支所長会議（毎月1回）
- ② 地区社協連絡協議会（3回 /6月、11月、2月）
- ③ 地区社協事務局長会議（1回 /7月）
- ④ 職員衛生委員会（1回 /10月）

Ⅲ. 地域における福祉推進のための事業（地域福祉活動推進部門）

地区社会福祉協議会活動を通して、地域の支え合い活動を推進しました。4月から「生活困窮者自立支援事業」を日田市から受託し、日田市役所内に「ひた生活支援相談センター」を設けて、生活困窮者に対する包括的な相談支援に取組みました。

1. 地域福祉活動推進事業

各地区社協における活動について研修や情報交換等を行うとともに、助成金を交付して活動の支援を行いました。

①地区社協事業への助成（予算サービス区分：地域福祉事業/サービス細区分：地区社協活動支援事業）
地域の福祉課題解決のため次のようなモデル事業の取組みを地区社協にお願いしました。

事業名	内容	助成額
1 ミニデイ	高齢者を対象にゲームや健康体操などを通じて、介護予防や社会参加できる場として開催しています。	19 地区×60,000 円 計 1,140,000 円
2 子育てサロン	未就園児と保護者を対象に、子育てについての問題や情報を交換・共有する場として開催しています。	14 地区×60,000 1 地区×40,000 2 地区×30,000 計 940,000 円
3 地区社協事業助成金(共同募金配分金事業)	地区社協事業に必要な備品を整備するために、共同募金配分金から助成金を配分しました。	15 地区 計 972,000 円

②一人暮らし高齢者会食交流会への助成（予算拠点区分：共募配分金事業/サービス区分：老人福祉活動）

対象：一人暮らし高齢者（地区によっては対象枠を拡げている） 主催：地区社協
内容：参加者の孤独の解消や仲間づくりを図りました。

➤ 参加者合計 2,459人（内、助成対象外92人） 助成額合計1,182,832円

*助成単価 一人当たり500円 又は、経費の総額が助成基準を下回る場合はかかった経費分

③配食サービスへの助成（予算拠点区分：共募配分金事業/サービス区分：老人福祉活動）

対象：一人暮らし高齢者や高齢者のみの世帯など 実施者：地区社協、ボランティアグループ
内容：対象者の見守りや食生活の改善を目的に心のこもった弁当や手紙を届けている。

➤ 助成実績 3,171食 × @300円 = 951,300円

2. 市民健康福祉まつり（予算拠点区分：共募配分金事業/サービス区分：福祉教育・援助活動事業）

10月11日(日)にパトリア・中央公園を会場に開催しました。医療・保健・福祉・環境などをテーマに、各種コーナーを設けました。式典では福祉・健康・スポーツ関係者の表彰が行われました。福祉関係の被表彰者数は以下のとおりです。

福祉関係表彰 ・社会福祉事業関係功労賞1名 ・模範自力更生賞4名 ・模範介護賞13名
・社会福祉事業協力団体3団体 ・特別寄付者3団体
敬老関係表彰 ・輝く高年特別賞(100歳)23名 ・輝く高年賞17名 計58名、6団体

3. 歳末たすけあい事業 (予算拠点区分：歳末たすけあい配分金事業/サービス区分：同)

①「歳末たすけあいチャリティーショー」11月28日開催 会場：中央公民館、大山文化センター

チケット売上 303,300円 当日募金 39,842円
バザー売上 127,860円 協賛寄付金 215,000円 計686,002円

②歳末たすけあい事業

高齢者・障がい者・児童等に対して、訪問や福祉事業を実施した地区社協に配分しました。

配分金額：2,250,000円 (20地区社協へ配分)

4. 各種相談事業 (予算拠点区分：地域福祉活動推進事業/サービス区分：総合相談事業)

- ・ 日常生活の様々な相談に応じ、適切な助言や他の機関への紹介を行いました。
- ・ 定期的な相談窓口として「心配ごと相談」及び「弁護士による無料法律相談」を実施しました。

相談員：心配ごと相談 … 民生委員児童委員、有職者（司法書士）、職員
 弁護士相談 … 弁護士

開催日：心配ごと相談 … 本所：毎週木曜日 前津江：年3回
 天瀬支所：毎月第3水曜日 大山支所：偶数月第3木曜日

 弁護士相談 … 本所 12回 相談利用者数：91名（男41、女50）

5. 広報・啓発事業 (予算サービス細区分：調査研究企画広報事業及び福祉人材バンク事業)

「社協だより」

地域福祉の啓発と市社協事業（主に地域福祉事業）への理解と協力を得るため、
広報紙を年6回発行し、市内全戸に配布しました。

ホームページの管理 <http://www.hitashakyo.jp>

6. 生活福祉資金等の貸付事業 (予算拠点区分：地域福祉活動推進事業/サービス区分：生活福祉資金事業)

①生活福祉資金の貸付

➢ 19件 8,622,600円

償還期限内貸付分の償還率 42.9% 償還期限を過ぎた貸付分の償還率 8.0%

②愛の金庫資金・法外援護資金の貸付

現在は貸付を中断し、償還促進に努めています。

➢ 償還件数 3件 償還額 1,500円

③緊急援護資金

➢ 貸付件数 1件 貸付額 5,000円 年度内償還済み

7. ボランティア活動の推進

ボランティア活動に対する市民の関心を高め、ボランティア活動への参加・情報提供に努めました。

①ボランティア連絡協議会 (予算拠点区分：地域福祉活動推進事業/サービス区分：助成事業)

活動費の助成（270,000円）を行い、ボランティア連絡協議会の活動を支援しました。

② 地域ボランティア (予算サービス細区分：地区社協活動支援事業/助成事業)

福祉委員 572名

※福祉委員とは

地域の福祉活動を推進していくために、市社協会長から委嘱された地域のボランティア。活動の場所は、自分の住んでいる町内を主に、地区を一つの単位としています。要援護者（一人暮らしの高齢者等）に対する支援の必要性や地域の福祉課題などを早期に発見して、その解決のために民生・児童委員などと協働しています。

③ 住民参加型在宅福祉有償サービスの支援 (グループの単体会計)

住民参加型在宅福祉有償サービスグループ（日田ハートクラブ、事務局市社協）が、支援を必要とする高齢者を対象に、有償（30分300円）で家事支援を行いました。

➤ 年間活動件数 1,754件 利用会員数104名 協力会員数44名

④ 夏のボランティア体験 (予算拠点区分：ボランティア活動推進事業/サービス区分：同)

ボランティア活動に興味があるけれど、なかなか参加するきっかけがない方々のために、7月から8月の夏の期間を利用して、様々なボランティア活動に参加していただく企画です。

期間：7月19日～8月31日

参加者：85名（男24名 女61名）内、高校生29名／社会人6名／その他50名

受入れ施設：32施設 内、高齢者施設11／障がい者施設3／その他（児童クラブ等50名）

8. 福祉教育 (予算拠点区分：共募配分金事業/サービス区分：福祉教育・援助活動事業)

小学校(11校)・中学校(7校)・高校(3校)を福祉協力校として指定しました。

- 助成金額 @25,000円×8校=200,000円（小学校3、中学校5）
@30,000円×10校=300,000円（小学校6、中学校2、高校2）
@35,000円×3校=105,000円（小学校2、高校1）

9. 障害者社会参加促進事業等 (予算拠点区分：地域生活支援事業/サービス区分：地域生活支援事業)

市民に手話や点字を理解してもらい、視覚障がい者や聴覚障がい者の社会参加の促進に努めました。また、障がい児を対象に夏季休暇中の生活を支援しました。

① 手話奉仕員養成講座 15名修了

② 点字講座 一般講座 3名修了

③ 障害者スポーツ教室等開催事業

ふうせんバレー教室を開催した。（参加者延べ156名）

④ 障害児長期休暇生活サポート事業（20日間）

就学中の障がい児を対象に、夏季休暇中の生活を支援しました。

・実利用者14名 ・利用者延べ186名 ・ボランティア延べ109名 ・専任職員4名

⑤ 市報・社協だより等の点訳奉仕の支援

社協だより 年6回(奇数月) 市報 年12回(毎月1日号) その他

⑥ 市報の音訳奉仕の支援

社協だより 年6回(奇数月) 市報 年24(毎月1日、15日号) その他

⑦ 福祉体験教室

三和小学校 2月4日 車イス、点字 4年生を対象

三芳小学校 12月8日 盲導犬、アイマスク 1年生を対象

10. 福祉人材バンク・高齢者無料職業紹介所事業

(予算拠点区分：地域福祉活動推進事業)

サービス区分：福祉人材バンク事業)

福祉職を求める方と求人する事業者との間に立ち、職業を斡旋し、福祉人材の確保に努めた。また、高齢者の職業斡旋を無料で行いました。

- ① 福祉人材バンク ・求人申込件数 610 人 ・有効求人数 117 人 ・紹介数 6 人 ・就職数 5 人
- ② 高齢者職業紹介 ・求人数 19 人 ・就職数 19 人
- ③ 福祉のしごと就職フェア 8月 9日 大分県社会福祉介護研修センター 職員 2 名
- ④ 介護職場への訪問 9月 9日 市内福祉施設 参加者 3 名
- ⑤ われら現役大会 10月 25日 くすまちメルサンホール 相談コーナー設置
- ⑥ 介護就職デイ 2015 11月 14日 マリエール 参加者 14 人 事業所 2 1
- ⑦ ハローワーク出張相談 毎週火曜日 13：00～15：00

11. 生活困窮者自立支援事業

(予算拠点区分：地域福祉活動推進事業/サービス区分：生活困窮者自立支援事業)

4月から日田市役所1階に「ひた生活支援相談センター」を設置し、生活にお困りの方からの相談に応じ、本人の状態に応じた包括的かつ継続的な相談支援を実施しました。

拠点整備：「ひた生活支援相談センター」を日田市役所1階に設置

職員体制：主任相談支援員1名、相談支援員1名、就労支援員1名 計3名体制

相談者数：新規相談者数255名 (延1,371名)

相談内容：生活費を中心に、仕事、病気、人間関係なども絡んだ複雑なケースが多い。

「支援調整会議」の開催状況

①	27年 6月11日	家計の立て直しについて	(3件)	
		社会参加・自立した生活について	(1件)	
②	7月27日	支援の評価、一般就労、家計について等	(4件)	
③	8月26日	家計の立て直しについて	(1件)	
		引きこもり、就労、社会参加について	(4件)	
④	10月30日	支援の評価について	(2件)	
		生活環境の改善、社会参加について等	(3件)	
⑤	11月26日	一般就労について	(3件)	
		衣食住の確保について	(1件)	
⑥	12月17日	引きこもり、社会参加について	(2件)	
⑦	28年 1月27日	支援の評価について	(2件)	
		家計の立て直しについて	(2件)	
⑧	2月24日	支援の評価について	(2件)	
⑨	3月28日	支援の評価について	(5件)	計35件

13. その他

- 理事視察研修 日 時:11月17日(火) 参加者:理事8名、職員6名
視察先:熊本県山鹿市社会福祉協議会
内 容:・職員体制について ・成年後見センターの取組み
・ボランティア養成講座、福祉嘱託員(区長)の役割など

IV. 福祉サービス利用援助事業(福祉サービス利用支援部門)

日常生活上の様々な課題を抱えている住民に対して自立支援の充実を図るとともに、関係機関・団体との連携を深め、事業の円滑な推進に努めました。

1. 日常生活自立支援事業【あんしんサポートセンター日田】

(予算拠点区分:福祉サービス総合支援事業/サービス区分:福祉サービス利用支援事業)

判断能力が低下した高齢者や知的障がい・精神障がいのある方が、安心して生活できるよう、生活支援員が定期的に訪問し、福祉サービスの利用援助、日常的金銭管理、日常生活上の手続援助、書類等の保管を行いました。

- 支援実施件数 305回
- 利用契約者 25名 (前年比△7名)

2. 地域包括支援センターブランチ

(予算拠点区分:介護保険事業/サービス区分:包括ブランチ事業)

合併周辺地域(3津江管内)において、高齢者、障がい者や子育て世帯など地域住民から総合的な相談を受けました。

- 連絡会議の開催 3回
- 相談件数 前津江支所 129件 中津江支所 164件 上津江支所 110件

V. 介護保険関連事業(在宅福祉サービス部門)

利用者の尊厳の保持を徹底し、自立支援を目的とした介護保険事業、障害福祉サービス事業、障害者地域生活支援事業、介護予防・生活支援事業を一体的に展開し、在宅福祉事業の増進に努めました。

1. 介護保険事業

(予算拠点区分:介護保険事業/サービス区分:居宅介護支援、訪問介護、通所介護)

① 居宅介護支援事業

要介護状態の高齢者が必要とする介護サービスを受けられるよう、適切な援助を行った。

- 本所、中津江支所、大山支所、天瀬支所 年間総利用者: 3,055人

② 介護予防居宅介護支援事業

要支援状態の高齢者に介護予防サービスを受けられるよう、適切な援助を行った。

➤ 本所、中津江支所、大山支所、天瀬支所 年間総利用者： 780人

③ 訪問介護事業

利用者の居宅において、身体介護・生活援助のサービスを提供した。

➤ 本所、上津江支所 年間総派遣回数： 11,172回

④ 介護予防訪問介護事業

利用者の居宅において、身体介護・生活援助のサービスを提供した。

➤ 本所、上津江支所 年間総派遣回数： 3,754回

⑤ 通所介護事業

利用者に対して通所の機会を提供し、レクリエーション活動の他、身体状況チェック、入浴、給食、機能訓練のサービスを提供した。

➤ 前津江支所、中津江支所、上津江支所、大山支所、天瀬支所
年間総利用者： 13,889人

⑥ 介護予防通所介護事業

介護予防のためにレクリエーション活動、身体状況チェック等のサービスを提供した。

➤ 本所、前津江支所、中津江支所、上津江支所、大山支所、天瀬支所
年間総利用者： 3,040人

⑦ 福祉用具貸与事業 *本所のみ実施

電動ベッド、車椅子等の福祉用具を貸与した。

➤ 貸出中台数： 電動ベッド 37台 車イス 17台 (28年3月末)

2. 地域生活支援事業・その他

(予算拠点区分：介護保険事業/サービス区分：介護予防支援事業)

① 障害福祉サービス事業（国の定める事業）

障害者・児に対し、下記のサービスを提供した。

ア 居宅介護事業 イ 同行援護事業 ウ 生活介護事業
年間総利用者： 2,997人

② 障害者地域生活支援事業（市町村の定める事業）

障害者・児に対し、下記のサービスを提供した。

ア 外出サポート事業 年間総利用者： 111人

③ 生きがい対応型デイサービス事業

前津江支所、中津江/上津江支所、大山支所、天瀬支所（2ヶ所開催）

家族介護教室 5回 開催 年間総利用者： 4,435人

- ④ 軽度生活援助事業
本所、上津江支所

年間総利用者： 1,342人

- ⑤ 外出支援サービス事業
前津江支所のみ実施

年間総利用者： 802人

VI. 施設管理運営事業（指定管理部門）

指定管理者として公益の増進のために適正な目標を持ち、地域住民に支持され協力が得られるように、公正な管理運営に取組みました。

1. 保育園運営事業 （予算拠点区分：保育園運営事業/サービス区分：各園）

保育園児の状況(平成28年3月1日現在)	定員数	
まえつえ保育園	19名 *前年比 -2	(19名)
いずみこども園	36名 *前年比 -3	(45名)
ひばりこども園	20名 *前年比 -2	(25名)
つづき保育園	11名 *前年比 -1	(19名)
		計 <u>86名</u>

2. 高齢者生活福祉センター（生活支援ハウス）運営事業

（予算拠点区分：高齢者生活支援ハウス事業/サービス区分：各施設）

日田市前津江高齢者生活福祉センター（10名）	居者数	5名	28年3月末時点
日田市中津江高齢者生活福祉センター（12名）	居者数	4名	（ ）は定員数
日田市上津江高齢者生活福祉センター（10名）	居者数	2名	

3. 津江老人福祉センター運営事業

（予算拠点区分：津江老人福祉センター事業/サービス区分：同）

- 年間利用者数 4,476人
- 高齢者教室の年間利用状況
 - 絵手紙教室 9人
 - 軽スポーツ教室 142人
 - 花に関する教室 59人

VII. その他の部門

1. 地域子育て創生事業（前津江） （予算拠点区分：保育園運営事業/サービス区分：子育て創生事業）

- 地域子育て支援センター 開所日数 96日 年間利用者数 246名

2. トレーニング指導及びプール監視事業 （予算拠点区分：トレーニング指導・プール監視事業）

日田市総合保健福祉センター（2階）でトレーニングの指導及びプールの監視を行いました。

- トレーニング年間利用者数：10,847人
- プール年間利用者数：8,461人

3. 納骨堂管理事業 (予算拠点区分：地域福祉活動推進事業/サービス区分：その他の地域福祉事業)

昭和37年8月に竹田公園内に建立した納骨堂の納骨の状況は次のとおり。
 なお、盆及び彼岸には納骨堂を開扉して供養を行いました。

27年度末納骨数：172体 (前年比+11体)

4. 各種団体への支援事業 (予算拠点区分：地域福祉推進事業/サービス区分：助成事業)
 (予算拠点区分：共募配分金事業/サービス区分：老人、障害福祉事業)

各種団体へ事業費を助成しました。

日田市民生委員児童委員協議会	日田地区盲人協会
日田市ボランティア連絡協議会	日田断酒会
日田市老人クラブ連合会	日田フレンドワーク家族会
日田市身体障害者福祉協議会	日田市手をつなぐ育成会
日田市母子寡婦福祉会	計 1,425,000円

5. 心身障害者福祉事業 (予算拠点区分：介護保険事業/サービス区分：福祉用具事業)

介護保険非該当者に、電動ベッド、車いすの貸出を行いました。

◆料金

機器名		27年度末現在 利用者数
1	電動ベッド	70人
2	車椅子	37人

電動ベッド (月) 500円
 車椅子 (月) 200円

6. 寄付金、会費の状況 (予算拠点区分：地域福祉推進事業/サービス区分：組織運営事業、会費事業)

① 寄付金年度別採納状況 (単位:円)

年度	香典返し寄付金		一般寄付		指定寄付		合計	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額
27	122	6,240,000	21	732,122	18	1,548,500	161	8,520,622

② 社協会費年度別収納状況

一般会費は、市社協が行う事業費に充てられます。特別・法人・特別協賛会費は、
 地区社協事業の助成金として全額地域に還元しています。 (単位:円)

年度	一般会費 (1口200円)	特別会費 (1口1,000円)	法人 会費 (1口2,000円)	特別協賛会費 (1口10,000円)	合計
27	4,395,726	6,765,000	958,000	260,000	12,378,726
	21,979口	6,765口	479口	26口	29,249口